

株式会社大屋 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

2021年8月27日
株式会社大屋
代表取締役 伊藤 慎太郎

SDGsの達成に向けた取組み

ヘルスケアへの貢献

地域の皆様の健康で豊かな暮らしを創造し「信頼」「安心」「便利」をキーワードに、より良いサービスやライフスタイルを提案することで、地域のヘルスケアに貢献してまいります。

【具体的な取組み】

- ・ パーソナルケアの実現
- ・ お客様に合った生活上品の提案
- ・ アクセスの良い店舗立地
- ・ お客様の声の収集や改善提案制度によるサービス品質改善の徹底
- ・ 管理栄養士による相談会、イベント(高齢者のフレイル予防、動き盛りの現役層に対するの生活習慣病予防など未病・予防の取組み)
- ・ 調剤併設型ドラッグストア
- ・ 食品強化型ドラッグストア(フード&ドラッグ)によりワンストップショッピングの実現
- ・ オフィシャルHPにて健康に関する情報発信
- ・ SNSにて健康に関する情報発信、動画配信
- ・ フリーペーパーの発刊により健康に関する情報発信



全ては人に始まり、人に終わる

人のお役に立ち、人に喜ばれる仲間を創るために、「学び続け、変わり続け、挑み続ける」をモットーに、社員の成長をサポートする人財育成と能力開発に努めてまいります。

【具体的な取組み】

- ・ リーダー育成塾や年次研修などの充実した研修体制
- ・ 社内資格者制度による社員の資格取得支援
- ・ 全員参加型経営の推進(風通しの良い職場)
- ・ 経営理念の社内共有・育休、産休の取得推奨
- ・ 販売カウンセラーやSNS販売促進など女性が活躍しやすい部署を設置
- ・ 毎年、従業員満足度調査(ES調査)による従業員の意見を収集(意見をもとに職場の改善につなげる)
- ・ 従業員向けイベントの実施(社員旅行、BBQ、ヨガ教室など)
- ・ 社員登用制度(内部登用制度)
- ・ セレクション制度(希望する職位に立候補できる制度)
- ・ プラザーシスター制度(先輩社員が新入社員をサポートするメンター制度)
- ・ 健康経営優良法人(2021)の認定



環境対策

再生可能エネルギーの利用や電力使用量管理システムの導入などの省エネルギーな取組みを実践することで、地球温暖化防止に積極的に取り組み、地域環境保全に努めてまいります。

【具体的な取組み】

- ・ 全CO2を冷媒に使用した、エネルギー消費効率が高いインバーター機器を搭載した冷蔵什器を導入(新店舗および冷凍機更新を伴う全面改装店舗の店舗数の50%以上に自然冷媒機器を導入する。)
- ・ 全店舗への電力使用量管理システムの導入
- ・ LED照明の導入・太陽光発電システムの導入
- ・ 店舗屋根を使用してPPAモデル導入(太陽光発電→消費)
- ・ クールビズへの取組み
- ・ ペーパーレス化への取組み(社内申請書の電子化、社外との伝票・請求書等の電子化)



地域貢献・社会貢献

事業活動において地域医療を支えるとともに、地元での人材採用や地域貢献・社会貢献活動への積極的な参画を通して、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【具体的な取組み】

- ・ 地元人材の積極採用・骨髄バンク献血運動への参加
- ・ 難病を持つ子どもと家族への支援
- ・ 「マック基金」による災害時支援
- ・ 自動販売機収益の一部を寄付・地域清掃の実施
- ・ 地方祭への協賛・花火大会への協賛
- ・ 地域スポーツチーム、スポーツイベントへの協賛



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています